第1学年　学年通信

# 踏みだそう

鳥取大学附属中学校
令和６年 10 月 11 日（金）
第 12 号
文責　澤本　恭

## 節目を迎えて

前期終業式を迎えました。学校においては、これまでの取り組みを振り返り、次の目標を立てる大切な節目となります。4 月より学年目標を「つながろう　～仲間と学びと感動と～」と設定し、半年間教育活動に取り組んできました。子どもたちは、たくさんの経験を通して着実に成長することができたと感じています。成長を感じた一つの場面を紹介します。先日、室長・副室長が「学級対抗ドッチビー大会」を企画・運営してくれました。事前に何度も相談をし、当日に向けて準備を進めてくれました。当日は、堂々とした態度で運営にあたり、安心して様子を見守ることができました。また、リーダーだけではなく、試合中に他のクラスの試合に声援を送る生徒の姿が多く見られ、クラスを超えた仲間づくりが進んでいることがうかがえました。





後期は、前期に培った「仲間」や「学び」とのつながりを深める時期になります。今、文化祭に向けてクラス合唱の練習に励んでいます。よりよい合唱を届けるために、各クラスとも意見を出し合いながら練習を進めることになるのですが、その過程でどうしても「ソプラノパートが・・・」とか「男声パートが・・・」というような意見を言わなければならない場面に遭遇します。こういう場面こそ、集団としての成長が試されるのではないかと思います。相手の取り組み方や姿勢を尊重しつつ具体的な改善点を上手に伝えることは、大人でもなかなか難しいものです。また、意見を受け取る立場の側も、意見を前向きに受け止める姿勢を持つことが大切です。このような営みの中で、これまでの仲間との関係をより深いものにできるのではないかと私は期待をしています。

「学び」とのつながりについては、より主体的な姿勢で学習に取り組むことが求められます。最近、授業の様子を見ていると、落ち着いて授業を受けているようには見えるものの、教科書や資料集を使って調べる活動や、思考を伴う活動を人任せにして、黒板に書かれる結論だけをノートに書き写して学んだつもりになっている人もいるように感じています。

先日、1 月に行われる大学入学共通テストの出願が締め切られました。共通テストが始まって 5 年経ちましたが、以前のセンター試験と比べると思考力や読解力、判断力を問われる問題が増えたと言われています。また、国公立大学においても、一般入試だけではなく、総合型選抜、学校推薦型選抜など多様な方法で学生の募集を行っています。こうした昨今の大学入試改革を鑑みると、日々の授業での学習活動を通して、知識に偏らない総合的な学力を向上させることが求められているように思います。附属中学校の生徒だからこそ、先を見据えて自分に必要な力を身につけるための努力を積み上げていってほしいと思います。

### お願い～弁当持参の日について～

今週 7 日（月）は弁当持参の日でしたが、忘れていた生徒がいつもよりも多かったように思います。年末までの弁当持参の日は次の通りです。保護者の皆様におかれましても、手帳やカレンダーにメモしておいていただけるとありがたいです。ご負担をおかけしますが、よろしくお願いします。

【10 月】
10 月 19 日（土）
10 月 31 日（木）

【11 月】
11 月 1 日（金）

【12 月】
12 月 5 日（木）
12 月 6 日（金）
12 月 9 日（月）